

## 釜石市中心市街地東部地区商業推進協議会開催結果

日 時：平成 25 年 10 月 10 日（木）午後 3：00～午後 4：45

場 所：釜石・大槌地域産業育成センター

出席者：裏面のとおり

### 次第

- 1．市長あいさつ
- 2．議事
  - (1)報告第 1 号 東部地区フロントプロジェクトについて
  - (2)報告第 2 号 復旧・復興支援策について

### 結 果（要訳）

#### 報告第 1 号 主な意見

- ・既存の商店街のとおりに戻ろうとしている方々のためにも、大渡から魚市場までの景観づくりをしっかりとしていただきたい。
- ・街並みの景観は大事な要素であり、市民ホールについては懸念しているところ。県道沿いに大きな壁ができると景観が悪くなることから、県道に面したところはお店を張り付けや、中が見えるような造りにしていただければ良い。
- ・用地問題がこれから大きな課題となってくる。早めに手を打ってやっていく必要がある。

#### 報告第 2 号 主な質問、意見

- ・不動産賃貸業に対する支援策はあるのか？  
（回答）修繕できる方については、補助金を活用して修繕していただいていた。  
しかし、依然テナント入居を希望する被災事業者は多く、テナント施設が足りていない状況にある。  
市がすべての施設を整備するのは不可能であることから、大家に対する支援の必要性は理解している。
- ・嵩上げの高さを示して、自由に再建できるベースを早く整備しないといけない。  
水が上がってくる問題もあるので、水が上がらない対応も早く行ってもらえれば、自分で自由に再建する事業者も増えると思う。
- ・市内から市外へ避難している方の 40%が釜石へ返らないというアンケート結果が出ているようだ。これは、復旧のめどが立っていないので帰れないという方が多いことから、早急に復興事業を進められるよう頑張ってもらいたい。

第5回釜石市中心市街地東部地区商業推進協議会

【出席者名簿】

	所 属	職 名	氏 名
1	釜石商工会議所	会頭	山 崎 長 也
2	釜石市商店会連合会	副会長	佐々木 雅 昭
3	大渡町商店街振興組合	理事長	小笠原 順 一
4	大町商店街振興組合	理事長	新 里 耕 司
5	只越町商店街振興組合	理事長	片 倉 静 祐
6	浜町1丁目商業者	代表	加 藤 裕 二
7	釜石東部地区商店街グループ	代表	齊 藤 裕 基
8	岩手県沿岸広域振興局	参事兼経営企画部長	大 友 宏 司
9	釜石市	市長	野 田 武 則
10	〃	産業振興部長	渡 部 秀 幸

〔事務局〕

釜石市復興推進本部	復興建設技監	小 友 光 晴
リーディング事業推進室	室 長	平 松 福 壽
総務企画部財政課	課 長	古 澤 茂 樹
	管財係長	佐 藤 貴 之
	主 任	洞 博
総合政策課	課 長	正 木 隆 司
産業振興部商工労政課	課 長	吉 田 均
	課長補佐	菊 池 俊 彦
	主 任	小笠原 弘 明

〔その他出席者〕

岩手県沿岸広域振興局経営企画部産業振興課	主 査	高 橋 健 志
釜石商工会議所振興課	主 事	猪 又 重 俊

## 【協議会結果】詳細

### 議事

#### (1)報告第1号 東部地区フロントプロジェクトについて

- ・平松室長、古澤課長より説明

#### (2) 報告第2号 復旧・復興支援策について

- ・吉田課長より説明

### 報告1号について

齊藤委員 共同店舗入居事業者の営業時間はどうなっているのか？

入居事業者によって、昼だけとか夜だけとかということはあるのか？

平松室長 今回は昼営業する事業者を公募した。

昼だけ営業の事業者若しくは、昼から夜まで営業する事業のどちらかである。

小笠原委員 中番庫の石炭を積んでいる箇所の活用計画はあるのか？

平松室長 民間の土地なので分からない。

小笠原委員 イオンの出店に伴い、ロードサイド店のような新規出店の情報はるか？

平松室長 情報は入っていない。

大平委員 大町地区に予定している復興公営住宅の戸数や完成時期は？

新しい市庁舎には防災機能を入れると思うがどのようなものか？

また、建設にあたっての復興交付金の活用はあるか？

平松室長 大町地区の復興公営住宅については、現在用地交渉中の段階であるため確定しているものはまだないが、戸数については数十個を予定している。

古澤課長 新しい市庁舎の防災機能については、災害時の避難場所機能や備蓄倉庫を検討している。

復興交付金の活用についても検討中である。

加藤委員 魚市場とにぎわい広場の間は駐車場となるのか？

平松室長 駐車場でもあり、広場としての活用もある。

市長 イベントが開催できるような場所としたい。

片倉委員 既存の商店街のとおりに戻ろうとしている方々のためにも、大渡から魚市場までの景観づくりをしっかりとしていきたい。

吉田課長 商店街の皆様にも協力していただきながら、商店街の再生に向けて取り組んでいきたい。

震災前と同じような商店街が形成されるのがベストだと考えている。商店街の皆様への復旧にあたって各種支援制度を活用してもらい早期の復旧に向けて支援していきたい。

新里委員 共同店舗の採用基準はどうなっているのか？

平松室長 今回の公募については17事業者の応募がありすべて被災事業者であった。

店舗の選定については、個別に事業者と話し合いながら決定したもの。  
たとえば、同業種について、同業者が一緒になっても良いか個別に聞きながら、最終的に9事業者を選定した。

小笠原委員 大渡から魚市場までの統一した街路整備をお願いしたい。

市長 有識者の方を交えてシンポジウムや先進地視察などを行いながら、進めていきたいと考えている。

齊藤委員 街並みの景観は大事な要素であり、市民ホールについては懸念しているところ。県道沿いに大きな壁ができると景観が悪くなることから、県道に面したところはお店を張り付けや、中が見えるような造りにしていただければ良い。

佐々木委員 嵩上げが当初の基準と変わったと思われるが？

小友技監 嵩上げを極力最低限にしようとしているもの。  
中心部で60cm、浜町ではある程度の高さを確保。

山崎会長 嵩上げに対する地権者の理解は大丈夫か？

小友技監 説明を行う際に小さな単位での説明会を開くなどしており、今後も同様にご理解いただけるように取り組んでいきたい。

山崎会長 用地問題がこれから大きな課題となってくる。  
早めに手を打ってやっていく必要がある。

#### 報告2号について

齊藤委員 不動産賃貸業に対する支援策はあるのか？

吉田課長 修繕できる方については、補助金を活用して修繕していただいていた。  
しかし、依然テナント入居を希望する被災事業者は多く、テナント施設が足りていない状況にある。  
市がすべての施設を整備するのは不可能であることから、大家に対する支援の必要性は理解している。

齊藤委員 修繕補助金の実績で東部地区の不動産賃貸業が26となっているが、すべて民間事業者なのか？

吉田課長 対象は民間なので、すべて民間事業者。

齊藤委員 民間活力導入ゾーンは、市が土地を用意して民間が建物を建てられるようになるのか？

平松室長 土地、建物ともに民間の事業となる。

山崎会長 グループ補助が決定しても、復興事業によって建てる場所がない状況となっている。

グループ補助の決定後の繰り越しはいつまで可能か？

吉田課長 法律上、繰り越しは2年間。

その後は、再申請の手続きを行い延長していく形となる。

再申請の手続きは、最初の申請時のようなものではなく、簡素な手続きで対応していくようだ。

新里委員 市が整備する共同店舗に応募した方は、再開場所がない方が応募した。応募したが入居が決まらなかった事業者や、他の再開場所がない方が自由に再建できる場所の確保が必要なのではないかと？  
嵩上げの高さを示して、自由に再建できるベースを早く整備しないといけない。水が上がってくる問題もあるので、水が上がらない対応も早く行ってもらえれば、自分で自由に再建する事業者も増えると思うが？

小友技監 今年中に全部の工事を発注する計画でいる。  
県道、市道、水道、下水道が密接に関係していることから、しっかりと検討して進めていきたい。

山崎会長 釜石には、特産の魚を格安で提供できるお店が無い。  
飲食店ゾーンに3店舗くらい市が建物を整備して、格安で地場の魚を提供できる事業者を家賃無料で公募するなど、大胆な取り組みを行ってはどうか？

市長 フロントプロジェクトは市が責任を持って取り組んでいく。  
その中で、フロントプロジェクト3は、よそから来た人に魚を売る、食べてもらうという機能を考えている。

片倉委員 事業者の懇談会の開催を考えている。  
アットマークリアスで神戸からアドバイザーを呼んで懇談会を開催しようと考えているので、ご協力をお願いします。

市長 商店街独自でそのような取り組みを行うことは大変良いことだ。

小笠原委員 大家への支援の話があったが、確定されたものか？

吉田課長 制度の必要性は認識しているが財政的な問題もあるので、制度について協議していく段階。

渡部部長 大家への支援について補足して説明する。

現在グループ補助金で225事業者が採択されているが、嵩上げの問題などがあり手をこまねいている状況にある。

仮設施設の入居率は90%を超えており、入居事業者でグループ補助金の採択事業者は約80となっている。

また、仮設入居事業者で、まだ何の補助金にも手を上げられないでいる事業者が150くらいある。

このような中で、今年度新たにグループ補助に手を挙げられる事業者が少なくなっている状況があり、このような状況が続くと、国では新たな予算をつけにくくなっていく。

そこで、民間の活力を後押しするような制度が必要であると考えているものである。

山崎会長 平成26年度において、政権の交代もあり新たな制度が出てくる話もあるようだ。

加藤委員 嵩上げ完了の時期とスケジュールはどうなっているか？

小友技監 地域によって全く変わってくるので、現在ブロックごとに工事発注しようとしている。

ブロックごとに検討して、模型をつくっているので、今後情報提供していく。

山崎会長 市内から市外へ避難している方の40%が釜石へ返らないというアンケート結果が出ているようだ。

これは、復旧のめどが立っていないので帰れないという方が多いことから、早急に復興事業を進められるよう頑張ってもらいたい。

#### 事務局報告

吉田課長 現在シンポジウムの開催について検討している。

フロントプロジェクト、東部地区のまちづくり、イオンとの融合などについて、学識経験者や専門の方を呼んで、年内の開催を考えていることから、開催にあたっては参加をお願いしたい。